

授業の計画

本時の授業	教科・科目・学年	数学・数学A・1学年
	単元（題材）	整数の性質(ユークリッド互除法と不定方程式)
	授業者	長谷川 斐子
	実施日時	令和元年 11 月 19 日（火） 6 校時
	場所（対象生徒数）	11R 教室（40 名）
問題解決型協働学習の意図	本時の課題	1 次不定方程式を用いて、文章問題を解けるようにする
	育成したい力	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な事象を数学的に捉えて考察する力 ・失敗を恐れず活動し、他者の意見を取り入れて、課題を解決する力 ・数学の規則に従って、処理する力
	課題解決の方法	協働学習およびスマートフォンの活用
ICT 活用の意図	活用する機器	スマートフォン、タブレット端末、TV
	活用アプリ等	パワーポイント、関数アプリ（geogebra 等）、ロイロノート
	育成したい力	1 次不定方程式の整数解を図形的に捉えて課題解決する力。
	ICT 機器の具体的な活用方法と目的	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントを利用して課題を与え考える時間の確保と、復習をスムーズに行う。 ・1 次不定方程式の整数解を視覚的に捉えて課題解決するため、生徒一人ひとりが関数アプリ（geogebra 等）を用いる。 ・個人ワークシートを提出させて、評価の対象にする。
本時の授業内容	本時の目標	1 次不定方程式を用いて、文章問題を解けるようにする
	本時の学習活動	<p>○導入（8分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題を提示し、前回までの復習をパワーポイントで行う。 <p>○展開 1（15分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人→グループで、話し合いながら問題に取り組む。 ・関数アプリを活用するように促す。 <p>○展開 2（10分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループの意見を発表できる形にホワイトボードにまとめる。 ・グループ内で共通理解を図る。 <p>○展開 3（15分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループ 1 分程度発表し、分類（1 種・2 種 A・2 種 B・2 種 C・3 種）する。出てこない分類があれば補足する。 <p>○まとめ（2分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学的な考え方を用いて、身近な事象が考察できることを確認する。 ・個人ワークシートをロイロノートに提出する。